

山土建協通信

発行:一般社団法人山形県土地改良建設協会
山形市あさひ町 16-21 TEL : 023-641-7888

◇地域別研修会を開催

協会会員の皆様に、その地域における農業と農業農村整備事業の現状、今後必要となされている整備内容等について知っていただき、併せて、県営の工事を実際に発注している各総合支庁と具体的な現場での課題等について意見交換を行うため、下表の日程で地域別に研修会を開催しました。こうした研修会はコロナ感染防止の関係から3年ぶりとなりましたが、今年度は7月1日から適用された積算基準の改定内容についても加え、村山、置賜、庄内の各地域で合わせて59名の方より参加をいただきました。(最上地域においては7/1に総合支庁主催で開催されています)各総合支庁の幹部の皆様には、大変ご多忙な中にも拘らず、研修会の講師を引き受けていただき感謝申し上げます。

月 日	地域	会 場	講 師	参加者数
7月22日	村山	土地連	村山総合支庁 木村技監、 農村整備課 佐藤課長、稲葉主幹 西村山農村整備課 倉金課長 北村山農村整備課 阿部課長	17名
7月27日	庄内	土地連 庄内支所	庄内総合支庁 足達次長 農村整備課 大場課長、高橋主幹	27名
7月28日	置賜	米沢平野 土地改良区	置賜総合支庁 農村計画課 嵐田課長 農村整備課 喜嶋課長 西置賜農村整備課 長岡課長 県庁農村整備課 齋藤主査	15名



【村山地域】



【庄内地域】



【置賜地域】

研修会では、講師の方より県全体の農業農村整備の指針である長期計画の概要をはじめ、各地域における現状と今後の取組方向等や、実施中の事業地区の状況、積算基準の改定内容について非常にわかりやすい資料を準備いただき、ご説明いただきました。その後の意見交換では、資材単価が急激に高騰している現状や、農業農村整備工事における建設業の働き方改革に向けた取組等の問題とともに各地域特有の具体的な課題など率直な意見が出されました。

農業農村整備工事は地域農業の振興や安全・安心の確保のために実施されます。施策の効果が工事を通じて現地で十分に反映されるためには、発注者・受注者の双方が良い工事となるよう努めていくことであり、発注者には現場での課題の正確な把握と、その是正・改善に取り組んでいただくこと、受注者側としては事業目的の十分な理解と工事受入に向けた体制を整えていただくなどが重要だと思います。協会では今後ともこうした機会を作っていきたいと考えておりますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。

◇8月3日からの豪雨は置賜地域を中心に甚大な被害をもたらしました。この豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。新聞報道では2年前の7月豪雨による被害に匹敵する規模とのこと。被災した現場で応急復旧等の対応に休日返上でご尽力いただいております会員の皆様に深く敬意を表するとともに感謝申し上げます。